



コロナル屋根の塗替えリフォーム

Before

After

1 day
リフォーム
しまえるんですα

感染予防対策☺ステイリフォーム

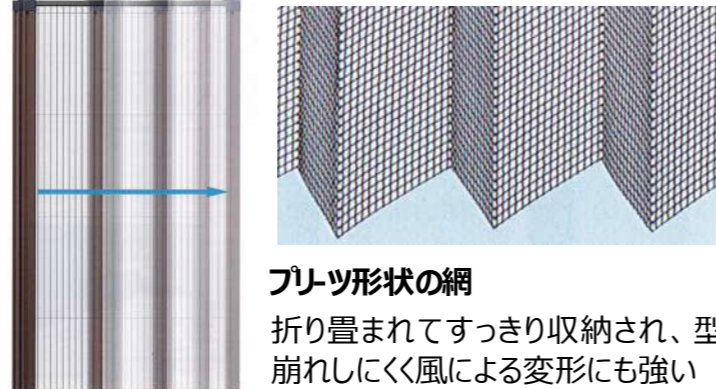
この夏は、換気が大事！

エアコン+換気=ドア・窓

リクルしまえるんですαは、簡単に取り外して気軽に丸洗いして、「しまえるんです」施工時間は1窓あたり約1時間



人気商品です



フリーズ形状の網

折り畳まれてすっきり収納され、型崩れしにくく風による変形にも強い

簡単施工で様々な出入口に取付け可能です

お問い合わせ：太田工業株式会社

☎ 0120-552-448

網戸の必要ない季節は、網戸本体を取り外し収納可能です

玉諸エコクラブ エコキャップ回収がありました。

キャップ数26,535個・募金額122円でした。

新型コロナウイルスの影響でリサイクル材の出荷が出来ず、販売価格が暴落中とのこと、リサイクル金額も1kg8円から2円になったと国土興産様より連絡がありました。ご承知下さい。

【今月のエコキャップ運動】上阿原新田自治会様・小池美恵子様（向町）匿名希望様

編集後記

「平歩青霄」（へいほせいしょう）いつだったか新聞でこの言葉を見かけました。禅語の中の4文字、「青く澄み渡った大空を軽々と歩いて行く様、その心構え」と注釈がありました。長引くコロナ禍、そして、追い打ちを掛けるように豪雨災害、青空を見上げる事などいぞ忘れていました。先だって、梅雨の晴れ間に虹がかかっているのを見つけ、なんとなく幸せな気分になりました。

新型コロナウイルス、まだまだ油断が出来ません。それでも、顔は上向き、青空を仰ぎながら一日一日を大切に過ごしましょう「平歩青霄」のごとく。



水分補給・熱中症に気を付けて

思えば思われる
信じ合う心
拝みあう姿

能満寺



チャオチャオ！わいわいクラブ vol.168

〒400-0824 甲府市蓬沢町1146
☎ 233-6588 fax 235-4809
http://reform.ota-kogyo.com/
発行人 太田丈三 編集人 落合洋子

暑中お見舞い申し上げます

新型コロナウイルス感染禍、本来なら東京オリンピックで盛り上がっていた今年の夏。
新しい生活様式・我慢・協力・清潔・マスクチェック・大丈夫、私たちにはできる。頑張ろう！

We can CHANGE-Yes,we can.



太田工業株式会社ビジネス基礎研修が、東光寺で開催されました。講師の石黒仁さんより社会人としてのモラル、ビジネスマナー、発信する言葉への責任、怒りをコントロールする方法などを学びました。違う部署のメンバーとも意見交換ができ親睦が深まり、また東光寺ご住職より座禅のご指導を賜りました。呼吸と姿勢を整え、雨の庭園をみつめながら精神統一、その後、警策(きょうさく=肩たたき)を頂きました。

敬虔な仏教徒のマンマの実習生3人は、寺院での研修ということでマンマの正装ロンジーをまとい参加しました。生活に祈りがある若者たちの姿は実に美しいものでした。



九州豪雨災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

弊社は、1912年に太田塗装店として甲府市舞鶴城近くの桜町に誕生しました。昭和48年に現在の蓬沢町に移転し、以来47年この地にて建築仕上工事を行っています。地域貢献として発刊しました「チャオチャオわいわいクラブ」は発行13年を迎えました。これからも玉諸地区の情報を皆さまにお届けしてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

チャオチャオわいわいクラブは私たちが作成しています



創業108年の信頼と実績 塗装・リフォーム 太田工業株式会社 ☎ 0120-552-448

チャオチャオ！わいわいクラブは、五味新聞店さんのご協力により玉諸地区の皆様にお届けしています。

考えてみませんか？ しつけと体罰・子どもの人権

新型コロナウイルス感染禍において、家で過ごす時間が長くなっています。新しい生活様式に慣れない大人も子どもも、ストレスがたまる状況になっています。その中で、ストレスが子どもたちにむけられ、日頃は口にしない言葉を投げかけたり、無視をしたり、暴力をふるってしまう大人が増えています。これは、ドメスティックバイオレンス（DV）です。

8月29日～9月3日は全国一斉「子どもの人権110番」強化月間です。子どもの人権に対して考えてみましょう。

コロナ禍で地域の行事が中止になっており、取材が出来ません。このような時期だからこそ、改めて未来を担う子どもたちの人権について考えてみましょう。

体罰にあたる行為の一例

- ・口で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬を叩いた。
- ・大切なものにいたずらをしたので、長時間正座させた。
- ・友達を殴って怪我をさせたので同じように子どもを殴った。
- ・他人の物を盗んだので、罰としてお尻を叩いた。
- ・宿題をしなかったので夕ご飯を与えなかった。

子ども心を傷つける一例

- ・冗談のつもりで、「お前なんか生まれてこなければよかった」など、子どもの存在を否定するようなことを言った。
- ・やる気を出させるために、兄弟姉妹を引き合いにしてダメ出しや無視をした。

【これらは、DVとみなされます】

元プロ野球選手：桑田真澄さんは、自身の体験を踏まえ次のように語っています。

少年時代、練習に行くと殴られなかった日は無いくらい、怒られ殴られた。朝から晩まで練習するのが当たり前の時代、真夏でも水を飲めなかった時代だ。耐え切れず、トイレの水や雨上がりにできた水溜りの水を飲んだ経験もある。

甲子園でプレーさせて頂き、ジャイアンツで、そしてメジャーでも投げさせて頂き、野球というものを、ある程度は、熟知していると思う。そんな経験をしてきた僕が、今の日本の野球指導者をお願いしたいことです。厳しい言い方かもしれないけど、「気が付いてください」「気付けてください」よ。

自分に甘くそして、優しく、子ども達に厳しい指導者は要らないですよ。

たばこを吸いながら、ミーティングをするのは止めて下さいよ。

練習中に、煙草すら我慢できない弱い人に、何が指導できるんですか？

昼食に、ビールなど、アルコールを飲んで練習するのはよくないですよ。夜まで、アルコールを我慢できない自分に甘い人が、子ども達に何を指導するんですか？

不思議ですよ？子ども達を指導する前に、誰かに指導してもらってください。

日本中、何百というチームを見てきたけど、子ども達を怒鳴り散らしている指導者ばかり。怒鳴らないと理解してもらえないほど、私には指導力がないんですと、周りに言っているようなもんだよね。そんなことも、わからないのかね？

恥ずかしいというか、あまりにもひどすぎるよね。

そりゃあ、叱らなければいけない時もあるよ。でも、試合中、練習中、最初から最後まで、怒鳴ることないよね。その情熱は、素晴らしいと思うんだけど、方向が間違っているよね。それだけ情熱があるのなら、もっと勉強して知識を身につけるべきだよ。

もっと怖いのが、知識はあるけど、その知識を間違っただけで使っている指導者だよ。どちらのタイプの指導者にも、他人の大切な子どもを預かるんだから、最低限の知識を身につけ、知識があるのであれば、正しい方向に使ってほしいよね。

このことを、声を大にして、お願いしたいし、そろそろ「気が付いて」ほしいね。

(ブログより原文抜粋)

桑田さんの言葉に、自身も体験した、身近にもある出来事だと思った方もいらっしゃるのではないのでしょうか・・・子どもたちの人権を守りましょう。



法務省では、子どもの人権を守るため、子どもの人権110番を設置しています。子どもからのSOSを、周りの大人がいち早くキャッチすることが大切です。

**「いじめにあっているこどもたち」「ぼうりよくをうけている」こどもたち、でんわしてそうだし
ましょう。 あんしんして、ひみつはまもられます。 0120-007-110**

ほうむしょう じんけんようごきかん ほうむきよく じんけんようごいいん たいおう
法務省の人権擁護機関（法務局・人権擁護委員）が対応します

東北楽天ゴールデンイーグルス:オコエ瑠偉選手は、Twitter上で『 # BlackLiverMatter』のハッシュタグを付け自身の体験を綴りました。少年時代の彼の苦悩を自分に置き換えて読んで下さい。



「そんなに人間の心強くないよ」

まず、俺は誰も責める気はない。文句を言う気も無い。世界的にこういう状況で俺自身の体験を知りたいというメッセージの多さ、おんなじ境遇の人、またその両親の少しでも励みになればと思い、炎上覚悟で投稿します。ただ自分のもの凄く嫌だった過去をさらけだします。

まず最初に言いたいことが、これが差別だとかどうかそんなのは本当にどうでもいい話。この話は俺自身の体験であって、これをみてる大半の人には当てはまらないからこういう人もいるんだな〜くらいで大丈夫です。

俺が5歳くらいの頃かな。まず、保育園で思い知らされた。醜いアヒルの子の絵本を先生が読んでた。周りのみんなは先生が読んでる間、俺をジロジロ見ながら笑ってくる。俺はもちろんのようにうつむき耳を塞いでた。もの凄く孤独だった。先生は悪気ないし、しょーがないよね。俺が周りとは違うと初めて認識させられた出来事だった。

これも、保育園の時の話。ある日、親の似顔絵を描く時があった。先生は言った。「親の顔は肌色で塗りましょう。」その時保育園にあった、肌色のクレヨンのはだいたい色だった。でも、俺はその時の反抗心からか涙ながら、茶色のクレオンをとり親の顔を書いた。出来上がった後はもちろんみんなに笑われた。なんだろう、この時は毎日が辛すぎた。

家のベランダから外を眺めながら、ここから飛び降りて生まれ変わって、普通の日本人になれるかなとか、考えてた。今となっては、この普通とは何なんだろうと未だに考えてる。

広域型 特別養護老人ホーム ソレイユ甲府通信

玉諸地区の皆さま、こんにちは、お元気でいらっしゃいますか・・・

世界中がコロナ禍と言われている中、ソレイユ甲府におきましても感染症拡大防止の観点から、ご家族のご面会制限や外出禁止をさせていただいている現状です。その中でも、入居者様や、在宅サービスの利用者様になるべく普段と変わらない安全なサービスをご提供できるように、職員間で日々検討を重ねております。ご面会については、6月よりガラス越しでのご面会を段階的に解除し、短い時間ではありますが、入居者様とご家族様が久しぶりに、顔を合わせ会話が出来るようにいたしました。また、外出禁止のため、施設内でできることを視野に、レクリエーションを行ったり、雰囲気を変えて松花堂弁当をご提供したり、おやつ作りにご参加していただいたりと嗜好をこらし楽しんでいただいております。一日でも早い終息を願っておりますが、施設から感染者を出すことは防がなければなりません。職員一同、一層の努力をして参ります。



指定介護老人福祉施設＝特別養護老人ホーム
指定短期入所生活介護＝ショートステイ
指定通所介護＝デイサービスセンター
指定居宅介護支援 子育て支援スペース

指定介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム ソレイユ甲府
甲府市西高橋町277番地 ☎ 055-236-2266

ソレイユ甲府 施設長 石川 順也